

## 第4回専門部会及び第8回検討委員会議事要旨と今後の進め方

### 1. 第4回建設候補地選定専門部会(平成24年1月12日開催)議事要旨

#### 1. 第3回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等

① 三多摩市町村が、立川断層について調査を行うよう政府に申し入れをしたということである。町田市としてはその申し入れの状況の把握に努める。地震対策としては、設計の段階で耐震性について配慮するという対処方針で臨む。

#### 2. 意見募集について

##### (1) 意見交換会の位置づけ等

① 二次選定(案)と三次選定の評価項目(案)に対する意見募集を同時に行うというの、急ぐということではなく、より意見を取り入れるという主旨である。

② 二次選定(案)と三次選定の評価項目(案)に対する意見募集は同時に行うが、資料1の6ページの図を見る限り別々に行う印象を与えるので、表現を改めるようにする。

③ 1回目の意見交換会は2~3月かけて行う。2回目の意見交換会は7月以降を予定している。

④ どのような施設を作るのかという整備基本計画専門部会の結論が出ていない中で、二次選定(案)や三次選定評価項目(案)の議論をすることに意味があるのか。

⑤ 意見募集で寄せられた意見のような話が、意見交換会でも出されると思う。時間をかけて寄せられた意見を落とし込む必要がある。どのような方向性を持って意見交換会に臨むのかが重要である。

⑥ すぐに実行した方がよいものと、議論を尽くすべきものがあると思う。意見交換会は市民の意見を素直に聞くような形にするのがよいと思う。

##### (2) 建設候補地選定について

① 教育施設に関する事項が三次選定に組み込まれているのは、施設の内容、規模、数、距離等の要素があるため、工学的な方法で一括して比較整理することが困難だからである。

② 意見募集の結果をどのように選定プロセスに反映しているのかわかるようにしてほしい。

③ 二車線道路からの距離というのは、収集運搬の効率を考えた設定条件である。あくまで目安として300mという数値を導入した。道路からの距離に配慮するという意味合いでとらえてほしい。建設候補地の近くに太い道路がない場合、新規に道路を作ることになりコストがかかってしまう。市有地がどこにあるのかわかれれば、その市有地と道路との距離の照らし合せが出来る。具体的な内容は後々の部会で明らかにする。

④ 市役所の跡地の利用に関しては、跡地利用の検討委員会で議論されている。その委員会の答申では、跡地を廃棄物処理施設建設に利用するというような内容はなかった。

#### 3. 意見交換会の進め方について

① 意見交換会に臨むにあたって、両専門部会の意思統一が必要であると思う。

② 26日の委員会の前に、意見募集で寄せられた意見を三次選定の評価項目にどのようにすり合わせをしたのかというプロセスを整理すべきではないか。

③ 三次選定において、他市の評価項目の事例も出してほしい。

④ 熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃物・粗大ごみ処理施設と資源ごみ処理施設について、一次、二次選定までが共通で三次選定を別に行うのであれば、それに対応して方法も分ける必要がある。

以上

## 2. 第8回町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会(平成24年3月28日開催)議事

### 要旨【未定稿】

#### 確認事項

##### (1) 分散化について

- ① 施設の一極集中は避けるという議論はしており、「分散化を進める」ということは理解いただいていると考える。資源化施設について、分類化の方法や、設置箇所数については未決定である。
- ② 施設の分散化について、整備基本計画専門部会で審議し、その結果を建設候補地選定専門部会に送るという流れにする。

##### (2) 議論の進め方などについて

- ① 議論は、「一般廃棄物資源化基本計画を基本として議論を進める」ことを確認した。
- ② バイオガス化を基本としているが、コストや技術的な問題、効率性、環境影響、安全の問題などについては議論が必要である。
- ③ 第三次選定評価項目案は一定の合意に達しており、市民意見交換会の結果を踏まえて決定する。

### 1. 市民から寄せられた意見の概要及び2. 主な市民意見及び対応方針(案)

#### (1) 市民から寄せられた意見への対応

- ① 市民からの意見には誠意を持って答える必要がある。ただし、委員会の目的は、市民の意見に回答することが主な役割ではないため、全ての意見について委員会で議論はしない。
- ② 市民の意見に対する回答として、現状でわかっているもの、市で検討するもの、委員会で検討するものなどにわけて整理すべきである。

#### (2) 委員会で議論する項目などについて

- ① 意見交換会の結果を見ると、「分散化」、「排ガス規制値」、「生ごみのメタン化」については、市民の関心が高い。このようなことをふまえて委員会で議論すべきテーマを絞ることが考えられる。
- ② 焼却炉の型式については、ストーカ炉の意味がわからないなど「内容がわからない」という可能性がある。そもそも情報がしっかり伝わっていない可能性もあるので、注意する必要がある。
- ③ 建設候補地選定専門部会として、得られた意見は第三次選定評価項目のウェート付けをする上で、非常に重要である。今後、部会に反映させていく。
- ④ 市民の意見をもとに、何を重点的に議論していくのかを決定する必要がある。例えば、整備基本計画では、メタン化施設、分散化、周辺への配慮、排ガス規制値がある。候補地選定については、評価項目のウェート付けについて部会で検討する。

#### その他

- ① 基本計画については、委員全員が熟読すること。
- ② 次の市民意見交換会の際には、提出する資料を事前に委員会としてチェックできるようにする。
- ③ 今回の意見交換会では、建設候補地選定に対する意見がほとんど出なかつたと思われる。このまま進めてもいいのか、不安が残る。広報活動の充実が必要である。

以上

### 3. 第6回整備基本計画専門部会(平成24年3月28日開催)議事要旨【未定稿】

#### 1. 整備基本計画専門部会議論の整理

- ① ごみメタン化施設の検討については、一度全体を整理してほしい。全て焼却する場合、発生したメタンガスを燃焼させて発電する場合、メタンを精製して使う場合など、少なくとも3つのパターンが比較できると思われる。その全体に対し、コストや二酸化炭素排出量で比較したものを確認したい。
- ② 排ガスの自主規制値について現状の案の中には、現実的には非常に難しいと思われる項目と数値も設定されている。東京都内の他事例を一つの目安として比較してみることしたい。

#### 2. 市民からの意見を踏まえた対応方針(案)

- ① 基本的な方向性としては、資源化基本計画に基づいて「メタン化施設を建設する」ことを確認しておきたい。その上で、数値、データを用いて根拠に基づいた議論をしたい。
- ② 環境省の資料では、二酸化炭素排出量の試算の根拠がよくわからなかった。この部分を特に解説して欲しい。その他、直接人件費の試算の考え方、薬品費が低減されるという考え方はずんなりと理解できなかつた。チェックをお願いしたい。
- ③ ごみメタン化施設建設を評価する際には、コスト面ばかりでなく、再生可能エネルギーの活用、ごみ焼却量の減量など、複数の価値があることを認識したい。
- ④ メタン化施設の建設に対する否定的な意見を出すのは良いが、同時に代案を出さなければ議論が発散してしまう。元々のコンセプトを大事にして議論を進めたい。
- ⑤ 堆肥化についてであるが、現状の町田市で生ごみ処理機によって堆肥化し、それを土に入れて有効に活用できているのは約1,000世帯にとどまっていると推定されている。毎年3,000トンの生ごみをこの手法で処理するには、少なくとも20,000人程度の方々が土を有効活用する必要がある。これはさすがに現実としては困難ではないか。
- ⑥ 事務局には、ごみメタン化施設について、数値データをもとに議論できるようにしてほしい。
- ⑦ これまでメタン化施設に関してアンケートに回答していただいた会社は2社であったが、時間の関係で詳細まで把握できていなかつたと思う。再度、詳細部分までヒアリングしてほしい。

#### 3. 資源ごみ処理施設の分散化について

- ① 資源化ごみ処理施設については、市民の意見を踏まえ、音、においなどの要素を評価項目に入れ、現状と将来建設後を対比したものなども示してほしい。現状は屋外での作業なので、環境への影響が大幅に改善されることは明らかである。
- ② 市民の誰もが具体的に実感できるように、数値等で示してほしい。

#### 4. 今後検討する項目の確認

- ① 本日用意した資料では細かいところの説明が不足しているようである。本日の議論を踏まえて修正する部分もあると思うので、後日各部会員に送付してほしい。
- ② バイオガス化の代替案として、今一度RDFについても確認してほしい。私が調べたところによると、全国で60程度の自治体が採用した実績がある。現状がどのようになっているのか調べてほしい。

以上

#### 4. 今後の進め方

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	本委員会以外で検討する事項		備考 (意見交換会での委員の発言)
				広報等を行う事項	行政が対応を検討する事項	
1)自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 緑地を大きく残すことが大切だ。</li> <li>② すばらしい自然環境を有する場所にごみ処理施設を設置するのは反対である。</li> <li>③ 里地里山にごみ焼却処理施設を建設することは、全国の自治体が進めている里地里山保全の動きに逆行する。</li> </ul>	意見メモ メール等	<p>・緑地の保全を望む意見は、前回の意見募集の際にも多く寄せられている。今後も引き続きこの点に配慮した検討を進め、三次選定評価における重み付け等に反映するよう検討する。</p>			
2)市境からの距離、近隣市との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 成瀬の下水処理施設の敷地を選定するならば、周辺住民や近隣の神奈川県横浜市長津田市民の了解を得るために、付加価値のある利便性が高い防災センター施設の建設を併用すべき。</li> <li>② 他市町村との距離を100mという条件はなしにした方が良い。</li> <li>③ 八王子市の館町の焼却場が古くなり、新たな処理場が建つという。館町は町田の大戸ととても近い事を考えれば、相原町とのかね合いや都が森を里山として保全している事も考えて候補地を市民と共に考えてほしい。</li> </ul>	意見メモ	<p>・現在、二次選定の評価項目として設定している「市境からの距離」について、その妥当性と具体的な距離について、建設候補地選定専門部会において再度確認する。</p>			<p>【松波副委員長】隣接市に対する配慮からである。他の施設の事例でも、市境からの距離は評価項目として入っていた。距離を何mに設定するかは議論の余地がある。あくまでも町田市の施設であるため、市境を避けるのは基本的な考え方として妥当ではないかということで議論してきた。[2/16]</p> <p>【百武委員】当初、市境からの距離100m以下のエリアを不適との項目はなかった。しかし、市民からの意見の中で市境の条件を考慮してほしいというものがあり、検討した結果、項目に加わった。今頂いた意見を加味して、もう一度検討したいと思う。[2/26]</p>
3)分散化	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設を分散化すると、ごみに対する考え方が変わってくると思われる。</li> <li>② 施設の分散化により、震災時全滅することを防げる。</li> <li>③ 分散化により施設の建設が速やかにできるかもしれない。</li> <li>④ ごみ焼却施設などを一極集中させず市を3地域ぐらいに分けてそれぞれの地域で焼却や資源化をするべき。</li> <li>⑤ 旧相模原市の東西と町田の東西の距離は町田の方が長い。相模原市は南と北に2つの工場があり、車の搬送時間、ガスの排出、収集の時間の短縮、車の混雑の緩和、費用の低下に大きく寄与している。</li> </ul>	意見メモ メール等	<p>・施設の分散化については、全体として肯定的な意見が多い。市民の意識改革、経済性、収集運搬の効率、「地産地処理の原則」、道路交通混雑の緩和等、様々な視点を設定し、引き続き検討を進めるものとする。</p>			<p>【細見委員長】施設を分散するかについては、皆さんの意見を聞きながら、現在検討している段階である。現在の合意事項としては、焼却施設とメタン化施設は一体運営すると効率がよいということである。また、資源化施設については分散化する方向で考えていることである。具体的に何箇所に分散するか、どのような形で分散するかは議論の途中であり、市民からの意見も伺いたい。[2/27]</p>

項目	主な市民意見	意見の提出方法	当委員会(部会含む)での検討事項	本委員会以外で検討する事項		備考 (意見交換会での委員の発言)
				広報等を行う事項	行政が対応を検討する事項	
4)周辺地域への配慮・メリット	① 施設周辺住民に対するメリットの提供を考えるべきではないか。	意見メモ	・熱やエネルギーの供給については、前述の通り、管路や電線の建設及び維持管理に大きなコストがかかり、また法的な制約も伴うために詳細に検討する必要があるため、具体的な手法について引き続き検討を行うものとする。			【細見委員長】整備基本計画専門部会では、コミュニティバスやごみ収集車へのエネルギー供給ということも考えており、単にプールに使うということは考えていない。災害時のエネルギー供給の拠点というよりも議論している。[2/16]
	② プールとして利用できるようにするには、現在の場所が良いのではないか。	当日の発言				今は、防災拠点としての施設、回収エネルギーを利用したコミュニティバスの運営など案が出ている。他にも案や意見があれば出していただきたい。[2/27]
	③ 新庁舎近辺なら、市の管理もし易く、市営の(温水プール、給食、ホール等など)運営ができる。	メール等				【百武委員】周辺住民へのメリットを考えたり、災害時の拠点にしたりするなど、施設の利用に関してはいろいろな観点で考えている。[2/22]
	④ 近辺住民には「一定額の電力を無償で提供する」や「温水を供給する」などのメリットを提供すべきである。					
5)その他	⑤ 周辺道路住宅への騒音・振動対策強化を求める。一方通行規制、車体スプリングの改良、舗装の工夫、速度制限などが考えられる。	意見メモ	・環境への配慮については、収集運搬車の性能や道路舗装なども含めて対策を実施し、さらに今後の環境保全モニタリングに適用する基準値等を設定することが考えられる。環境影響評価は今回委員会の検討の範囲内では実施できないが、基本的な考え方を整理したうえで今後の検討に申し送ることが考えられる。			【宗田部長】現状の下小山田の施設では、これまで振動等の苦情はなかった。騒音、振動については、道路舗装に起因する部分も多いので、今後検討が具体的になっていくに従い、道路管理者との調整を図っていくよう検討する。[2/20]
	⑥ ごみ回収車の搬入、搬出での周辺地域における騒音・振動調査を実施し、住宅地基準値の設定を設けてほしい。					
	⑦ 近くに施設が建つことになると、さらなる排ガスや騒音等が気になる。					
	⑧ 施設(煙突含む)のランドマーク意匠配慮が考えられる。	意見メモ				
	・三次選定の項目への追加意見は以下のとおり。					
	① 既に迷惑施設があるかどうか	意見メモ				【百武委員】あくまで客観性を重視した上で、意見として受け入れ、今後の委員会で検討する。[2/27]
	② 現在の生活環境の状況(大気汚染の程度など)	意見メモ				類似の施設が既にあるかどうかということも評価項目に入れてほしいという意見だと思う。第三次選定の際の基準にふさわしいかを部会で検討ていきたいと思う。[3/5]
	③ 悪臭(におい)	意見メモ				【百武委員】いただいた意見を部会で諮って行きたいと思う。[3/5]
	④ 地域住民の居住状況(人口密度)	意見メモ				【松波委員】地域住民の居住状況(人口密度)については、重要な考慮項目と思われる所以検討ていきたい。[3/5]
	⑤ 交通渋滞(現状、そして施設ができた後の見込み)	意見メモ				
	⑥ 小中学校などの通学路に対する安全配慮(小中学校からの距離、建設地周辺道路の歩道整備状況など)	意見メモ				
	⑦ 地震や台風などの自然災害に対する防災面の考慮(地盤調査、風向・風速調査)	意見メモ				

## 5. 施設整備基本計画検討スケジュール

2012年5月 現在

委員会・部会等	項目	2013年										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会	検討委員会(両専門部会合同)	20日:第9回検討委員会 ・二次選定結果の共有 ・三次選定評価項目(案)の確認 ・熱回収施設(焼却施設)及び不燃粗大処理設備の具体的内容の共有	上旬:第10回検討委員会 ・意見交換会に向けた確認 ・ごみメタン化施設の具体的な内容の確認 ・計画ごみ量の見直しの確認 ・三次選定(案)の確認	上旬:第11回検討委員会 ・建設候補地最終選定結果の確認 ・各施設の決定内容の確認 ・意見交換方法の確認 ・ごみ発生量の時点修正を踏まえたデータの更新	下旬:第12回検討委員会 ・施設の運営計画の検討	中旬:第13回検討委員会 ・報告書(案)の検討	第14回検討委員会 ・報告書の確認					
	整備基本計画専門部会	20日:第7回専門部会 ・熱回収施設(焼却施設)及び不燃粗大処理設備の具体的内容の決定	中旬:第8回専門部会 ・ごみメタン化施設の具体的な内容の決定 ・計画ごみ量の見直し	下旬:第9回専門部会 ・資源化ごみ処理施設の具体的な内容の決定								
	建設候補地選定専門部会	27日:第5回専門部会 ・二次選定結果 ・三次選定評価項目(案)の作成 ・生活環境影響調査及び周辺地域への配慮に関する情報共有	上旬:第6回専門部会 ・三次選定(案)	中旬:第7回専門部会 ・三次選定評価結果 ・候補地最終選定(案)作成 ・意見募集方法の検討								
意見交換会・意見募集等	意見交換会(検討委員会確認後)	地元との意見交換		委員会の二次選定の結果を受けて絞られた候補地周辺市民との意見交換								
	広報	回覧板(町内会自治会等)			↔							
		広報まちだ			↔							
		環境広報ECOまちだ										
	意見募集	町田市ホームページ		●6/21			●9/1					
		まちテレ			↔		↔					
		募集期間			↔		↔					
		とりまとめ			↔		↔					
町田市	事業計画	財源及び地域計画				財源計画作成				地域計画作成		
ごみ発生量の時点修正		基礎数値の決定			↔							
施設検討	熱回収施設				↔							
	ごみメタン化施設				↔							
	不燃・粗大処理施設				↔							
	資源ごみ処理施設				↔							
施設の運営計画												
とりまとめ										↔		